

2011.10.31(火)

第116号

編集責任: カムラ

編集担当: ミヤ子

大樹

* よりそう Side by Side

芽が出ました!

第二まごころの郷づくりレポート完結編 ~ボランティアから地元の方へ



10月2日に初めて現地視察をした日から一ヶ月、宮本班長は毎日夜ほぼ欠かさずその日の進行状況を直筆のレポートにまとめ、自ら撮影した記録写真とともに編集部に持ってきて下さいました。

ガレキが残り、ススキが根を張る地を目にして当初は本当にできるのかと思ったそうです。しかし隊が目標とした「10月中にここをカタチにして地元・大樹の方にお渡しする」という願いは、たくさんのボランティアのみなさん、必要な物資を送ってくださった全国の方たち、そして様々な形で力を貸してくださった地元の方たちの力が見事結集し、第二まごころの郷には今たくさん新しい芽が顔を出しています。

「土地全体をきれいに整備した後、地元の方、近隣の仮設住宅の方に借りて使っていただけるよう『分譲菜園』を作りました。みんなで作る『みんな農園』には麦やキャベツ、白菜等を、「花畠」には水仙やチューリップを植えました。『ウッドデッキ』は井戸端会議、ひなたぼっこにもいいかも。ここで将来お茶っこをしたいと言ってくれた方もいらっしゃいます。今道具小屋にしているプレハブもそのおもてなしの台所の一部に使えそうです。」「麦畠で麦ができたらパンを焼いたり、ひつみも食べてみたい。これはあくまで個人的希望ですが(笑)。」今後の展開は地元の方と近隣の仮設住宅の方々みなさんのアイディア次第です。私たちは裏方ですが、みんなで知恵と力を出し合って冬の厳しさを乗り越え、春には無事花を咲かせたい。」と宮本班長。

整備が進んで行く過程で出会うことができた地元の方々、近隣の仮設住宅の方々からかけていただいた言葉は、たとえ厳しい意見であっても「ここを気にかけて、期待してくださっている証拠」だと、全て有難かったです。

うです。今後は11月5日のウッドデッキ完成お披露目会、そして13日にはいよいよ本格始動となります。

厳しい冬をどのように乗り越えていくか、たしかに課題も山積みではありますが、どのような花を咲かせ、どんな素敵な実を結ぶことができるか、夢はつきません。地元大樹の昔からの住民の皆さんと仮設住宅の皆さん、そしてまごころネットの挑戦はこれからも続きます。

(カムラ)

ギョーザを買って まごころネットに寄付しよう!!

~味の素冷凍食品(株)

~北に元気を!明日を耕すプロジェクト~

11月1日(火)より味の素冷凍食品(株)の「ギョーザ」を買うと、1袋あたり1円が東北の農業復興支援を行なっている3団体に寄付されるというプロジェクトが始まります。その中になんと遠野まごころネットが入っています。この支援金は震災による津波の影響で塩害等の被害を受けている東北地方の農業復興支援の一部として活用されること、対象製品は「ギョーザ」、「おつまみギョーザ」、「焼いてもゆでてもおいしいギョーザ」、「なにわのおつまみ餃子30個」、「なにわのおつまみ餃子50個」の計5品です。ギョーザを買う際には思い出してくださいね~

『対象期間』

2011年11月1日(火)~2012年2月29日(水)

今年もやります「菊花大会」!

大樹町では毎年菊花師による「浜菊大樹菊花大会」が大樹町文化祭で開かれ、多くの人が賑わうそうです。しかし今年は地震・津波により育てていた多くの菊が流されてしまいました。

大樹支援チームに持ち込まれたのが「残った菊60鉢で菊花大会を開きたい」という相談でした。支援チームの呼び掛けで10月31日、7名のボランティアが集まり、菊の運搬と会場の設営を行いました。集まった菊はそれぞれ見頃を迎え、とても見ごたえがあります。是非見に行ってみてください!

日時:11月1日~3日

9時~16時

場所:大樹中央公民館ロビー

入場料:無料

主催:浜菊大樹菊花会

協力:遠野まごころネット

大樹生活支援チーム

